



オリーブ通信



2013年7月号
2013.7.20発行
第141号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

みんなで準備!

7月20日はオリーブ19周年記念パーティ。この日のために1週間前のオリーブ授業後、みんなで協力して七夕の飾りと短冊作りをしました。



そもそも七夕ってなに?と思っている生徒さんもおられるだろうと、七夕祭りを説明するために以前作った七夕の紙芝居を倉庫から引っ張り出し、ショート



バージョンにしてリハーサルなしで急遽演じるはめになりましたが、それはそれで楽しんでもらえたようです。

20日のパーティで、飾りと短冊を笹につるします。ちょっと遅めの七夕ですが、みんなが書いた願い事かなうといいですね。(恩地美和)

中川先生のへんてこ日本語

36

「いわざる美学」

「どこ行きですか」「ちょっとそこまで」「そうですか。行ってらっしゃい」
こんな会話が成立するのも日本語だけであろう。日本語には「いわざる美学」がある。つまり多くを語らなくても「あうん」の呼吸で人間関係が保たれるのである。

「お茶でも飲みに行きませんか」「今日はちょっと」「そうですね。じゃ、また今度」なども、深く理由を追及しないところに日本流美学がある。

先日仕事帰りに京都でバスに乗った。そのバスが真新しく、ごく最近導入されたばかりのような新型だったので、降り際に運転手さんに「このバス、いつ導入されたのですか」と尋ねた。すると運転手さんの答えは、「最近です」。最近なのは分かっていて、さらに詳しく、「2〜3日前だ」とか「今日導入されたばかりだ」とかの答えを期待していたのに、これでは会話が展開しない。「何台くらい導入されたのか」「導入されたばかりのバスに乗ってラッキーだった」とか、筆者の会話継続意欲は削がれてしまった。

少し前のことであるが、ある若手セールスマンが電話をかけてきた。「今忙しいので」と断ると、「じゃ、いつ時間がありますか」と来た。そこで日本流会話展開のルールを説明してやると、「それならはつきり断ればいいじゃないですか」と反論してきた。どうも日本語教科書のモデル会話とは異なった表現を好む人たちがいるようだ。

日本人のコミュニケーション能力は、もはや危機的に衰退しつつある。人となりが面と向かって、相手の顔色をうかがいながら会話を交わす機会が薄れていっているためであろう。日本語教科書をしっかり暗記した日本語学習者のほうが、ひょっとして日本語がうまいかもしれない。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄





Min svenska dagbok

～みほのスウェーデン日記～
#5 スウェーデンの学生について ～ 高校・大学編 ～



伝統的な夏のお祭り“midsommar”

Hej! 今日はスウェーデンの学生について少しお話ししたいと思います。

スウェーデンの学生と日本の学生の違いは、まずこちらの学生の方が自由だということでしょうか。考え方、環境、どちらもです。

日本の中学生は将来高校に行くという選択が当たり前になってきていますよね。スウェーデンにも高校のような学校が存在しますが、高校というより、専門学校という方が近いような気がします。なぜなら、普通科という名のものが存在しないからです。

例えば、看護師になりたい人は大学へ行く前にその勉強ができる高校へ行きます。ITを勉強したい人はそれについて勉強できる高校へ行き、パソコンも無料で配布されます(1年以上通うなどの条件付)。販売や観光などの勉強ができる高校もあります。勉強だけでなく、実際に研修に行ったりもできます(もちろん日本のような国語や数学、理科社会といった科目もありますが)。

科目でいうと、日本との大きな違いは宗教という科目があるということでしょう。世界史だけではなく、宗教という科目を組み込むことによって、各々の宗教に対する相互理解、差別や偏見をなくす、世界の動きをより深く理解するためだそうです。私が日本には宗教という科目はないと話すと決まって驚かれます。スウェーデンは移民を多く受け入れている事もあり、この授業は欠かすことができません。

高校に入ってみて、やっぱり自分のしたいものとは違ったと気づいたり、ちょっと仕事をしたいという場合にはいつでも休学し、また高校へ戻ったり編入したりすることも可能です。私の彼氏も、初めはITの学校へ行きましたが、3ヶ月でやめ、それから9ヶ月は仕事をし、また違う高校で一年生からやり直しました。これはスウェーデンではかなり普通のことのように、授業でももし自分がおもしろくないと思えば生徒がこなくなる、もしくはテストのみ来る、ということもありえるそうです。

私が聞いた話では、日本語の語学クラスにはじめ40人もクラスメートがいたけれど、中級になるころには4人だけになったとか・・・先生はいかにおもしろい授業にするか、大変そうですね。語学クラスに関していいところは、それぞれ自身の勉強していた言語を話す国へ無料で短期留学もできるということです(人気のクラスで人数多数の場合はテストもあるようですが、それぞれ2週間ほど行くことができるそうです。これはもちろん、学校やコミュニン(市)にもよります)。



また、スウェーデンでは学校は大学も含め無料なので、大人になってから大学へ行く、方向転換するなんてことも多々あるそうです。日本では大人になってから大学となるとほとんどの人が経済的にも時間的にも難しいでしょうが、ここでは「友達のお母さんが今仕事をやめて大学生なの!」なんてこともありえるそうです。これは国民にとってはいつでも人生のやり直しがきく、という点でとてもいいことだと思います。学生の間は、毎月返済の必要がない奨学金も月3-4万円ほど支給されますし、これで足りないようであれば追加で返済義務のある奨学金を借りることもできます。スウェーデンの国公立大学は25校しか存在しないので、ほとんどの学生が一人暮らしを余儀なくされます。学生用のアパートはどの街にも存在し、一年において夏休みにあたる奨学金の支給されない2ヶ月は家賃無料、他の10ヶ月も毎月3万円程度、電気代も水道代も込みなので、たとえバイトが見つからなくても、奨学金を借りればなんの心配もなく大学生生活を送ることができます。

ここでは、自分の将来の目標ややりたい職業があるから大学へ行くのであって、みんなが行くからとか、いい会社に入るため、なんて大学生はあまりいないように思います。例えば就職活動の際に普通の会社へ面接に行くと、「法学部卒業予定です」といってもその学部での勉強がその仕事に関係がないのなら誰も雇ってはくれません。大学へ行く時には、自分の将来の仕事が明確に見えているという点が、日本とスウェーデンでの大きな違いだと思います。とはいえ、明確に将来の見えている若者が多数というわけではないので、高校卒業後すぐ大学へ進学する人ばかりではありません。

周りが大学へ行くから私も・・・なんてことはここではほとんどありえないスウェーデン。ここへきてまだ6ヶ月ですが、私も将来もう一度大学へ行こうと考えています。例え移民であってもおばあさんであっても、個人の将来に対する意思や目標を尊重し、その思いさえあれば社会もそれを応援してくれる国なのです。(新海 美帆)



夏の湖はオススメ観光スポットです!

※訂正#1でスウェーデンの人口についてお話ししましたが、正しくは、「大阪市の人口と同じ→大阪府の...」です。気づかれたかたもいらっしやるでしょうが、改めてこの場をかりて訂正させていただきますm(_ _)m

WELCOME

オリーブは、行く人来る人が港の入り船出船のように停泊期間もさまざまに入れ替わっていく場所です。今月も新しい生徒がやってきました。みなさんこれからよろしくね！

ホアン ゴック ホアさん
(ベトナム)



ベトナムから来ました。こし25さいです。私のしゅみは、サッカーとバレーボールをすることと、ギターをひくことです。私は毎日、日本語を勉強しています。しょうらい日本語が上手になりたいです。



タンギラン アルターさん
(フィリピン)



私は 2013 年 6 月 10 日に日本へ来ました。オリーブで勉強するのは 2 回目です。ここは、先生たちがみんなとても親切だし、もてなしてくれるのでうれしいです。ここで日本語がうまくなるといいな。Thank you and God bless...
(原文は英語)



新連載！ 今月から日本語教師として第 1 歩を踏み出した小島さんのエッセイをおとどけます！



日本語を教えています。～新米教師日記～①

7 月から SHIPS 多文化共生支援センターで日本語を教えさせていただくことになりました。

日本語教師養成講座を修了後 2 年以上経ってからオリーブに入会して約 8 ヶ月、やっぱり日本語を教える仕事がかたいなと思っていたので、この仕事に就く事ができて嬉しい気持ちでいっぱいです。

とは言え、仕事として日本語指導経験がなく、養成講座で勉強した事も忘れかけていたので、嬉しい気持ちと同じくらい不安な気持ちもありました。

案の定、前に立っての最初の授業は学習者がみんな???な顔をしていて、冷や汗だか何だかわからない液体がいっぱい体から吹き出し、授業の途中で教室を飛び出したくなりました。

それから数週間、慣れない教案と教材作りで眠れない日々が続き...現在に至るという感じです。まだ、授業でこんなことがあった！などのネタはありませんが、今後楽しいお話を載せることができたらいいなと思っています。ここに授業の様子などを書く事で、私がジタバタしながらも少しずつ成長していく過程を皆さんに見守っていただく♡と勝手に思っています。

とにかく、仕事としてやっていくからには、養成講座の模擬授業のように失敗しちゃう、エヘッなんて事のないように、勉強と努力を重ねるのみと思っています。

初回なので意気込んでいますが、今後万が一私がだらけている様子を見かけたら、発破をかけてください。よろしく願いいたします。
小島裕子





先月の活動(6月)

日本語教室 6/1(M),8,15,22,29(5回)
 まちセン運営協議会全体会 6/20(木)(田中一)
 まちセン施設部会夏の星座学習会 6/29(土)(田中一)
 おうみ多文化交流フェス運営会議 6/20(木)(恩地)



今月の活動予定(7月)

日本語教室 7/6(M),13,27(3回)
 オリーブ 19周年記念夏の夜のパーティ 7/20(土)
 まちセン運営協議会全体会 7/18(木)(田中一)
 おうみ多文化交流フェス運営会議 7/16(火)(恩地)
 BNN 日本語指導者養成講座 7/15(月・祝)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または参加予定者。敬称略



お知らせ

2013年度第2回日本語能力試験

試験日:2013年12月1日(日)
 申込期間:9月2日~10月2日
 ※当日消印有効、インターネット申込は17時まで
 レベル:N1~N5
 受験料:5500円
<http://infojees-jlpt.jp/>
 まだ第1回の結果は出ていませんが、心づもりだけは!

日本語教育能力検定試験2013

試験日:2013年10月27日(日)※当日消印有効
 出願期間:6月24日~8月12日
 受験料:10600円
 受験案内:主要書店にて販売 400円
<http://www.jees.or.jp>
 生徒の気持ちになって勉強の苦しみを知らぬのもいいかも!

びわこ花火大会

日時:2013年8月8日(木)
 19:30~20:30 荒天時は12日に延期



サマーフェスタ in みずの森

7月20日~8月11日

みずの森は、烏丸半島にある水生植物園です。烏丸半島にはハスの花の群落あり、今が見ごろ。それにあわせて水の森でもいろいろなイベントが実施されます。

7月27,28日ハス祭りでは、ハス生け花デモンストレーションや、野点、象鼻杯(ハスの葉に注いだ酒や水を茎の先から飲む)のイベントもあります。

8月18日までは、朝7時~午後5時無休で開園。ハスの花は朝開花するので、早起きして行ってみたいは?

入園料:一般300円 大・高250円 小・中150円

<http://www.seibu-la.co.jp/mizunomori/>



会員の動き

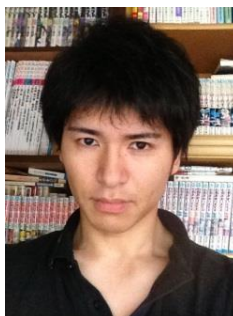
<入会>

後藤薫さん(6月22日入会)



若い頃から外国の文化、語学に興味がありましたので、色々な国の人との触れ合いも楽しくやれそうです。暇なときにはパソコンで簡単なゲームなどを作っています。多少パソコンにも詳しいと思いますので、困ったことがあれば気軽に声をかけてみて下さい。

川崎洋一さん(6月29日入会)



分からないことは何でも質問してください。一緒に勉強をして、楽しく成長しましょう。

<退会> なし <賛助会員> なし



6月の出席者数	
6/1 先生...11人	生徒...14人
6/8 先生...12人	生徒...18人
6/15 先生...13人	生徒...16人
6/22 先生...9人	生徒...18人
6/29 先生...13人	生徒...20人



編集後記:

七夕飾りを作った日、インド人のサティアさんが、「パーティのとき何を手伝いますか? サラダを作りますか?」と聞いてくれた。なんてステキな申し出! うれしいな~。サティアさんには以前イベントで本場のカレーを作ってもらった(すっごく美味!)のだが、そのとき残った材料でぱぱっと作ってくれたサラダもとてもおいしかった。でも、ケータリング頼みであるし、忙しい彼に無理をさせるのはちょっと...というか、あのカレーよ、もう一度ってことで(あの日食べそこねた人よ、耳をすまして聞きたまえ)、別の日に再度カレーパーティしましょう! 作ってね、とお願いしたよ。(MO)